

紙の資料で調べよう ～紙にもいろいろあります～

調べ物のための資料といってもいろいろあります。学校図書館にある主な紙の資料を中心にをご紹介します。それぞれの良い点と弱点も挙げてあります。

1. 紙の資料の種類と特徴

(1) 本（図書）… 表紙を除いたページ数が49以上のもの。

特に歴史的なことについて調べる場合は、本のように信頼度が高く、内容も確実なものを使いましょう。

《良い点》	○内容の信頼度が高い ○燃えない限り情報が残る
《弱点》	●内容が古くなってしまふ

(2) 雑誌… 決まったペースで発行され続ける冊子のこと。

特に科学分野などで比較的新しい話題について調べたいときに。内容もきちんとしているので信頼できます。

《良い点》	○内容の信頼度が高い ○燃えない限り情報が残る
《弱点》	●内容がやや古くなってしまふ

知っておくとレベルアップ

雑誌といえば、息抜きに読むものというイメージが強いかもしれませんが、研究論文を掲載する学術雑誌や、特定の分野を扱う専門誌も数多くあります。大きな公共図書館の雑誌コーナーに行けば、その多さを実感できるでしょう。特集記事については、ほとんどの図書館で書籍と同じように検索ができます。



(3) パンフレット、リーフレット

パンフレット(左)：簡単に製本されたもので、表紙を除いたページ数が5～48のもの。
リーフレット(右)：1枚の紙両面に印刷されたものを折りたたんだもの。

《良い点》	○雑誌とほぼ同じ
《弱点》	●雑誌とほぼ同じ

内容がコンパクトにまとめられているので、わかりやすいです。

(4) 新聞… 決まったペースで発行される。本や雑誌と違い、綴じられていない。

最新の話題で、信頼できる情報を知りたいときに使ってみましょう。解説コラム(朝日新聞の『いちからわかる!』など)はとてもわかりやすいので、参考になります。

《良い点》	○最新情報を本や雑誌より載せやすい ○内容の信頼度が高い
《弱点》	●紙の質がよくないので保存しにくい ●ウェブサイトよりは情報の更新が遅い ●必要な記事を探すのが大変

知っておくとレベルアップ

新聞は、広くあらゆる分野について報道する全国紙のほかに、地域の情報に絞った地方紙や、特定の分野を扱う専門紙、中高生向けの新聞もあります。

都立高校は全校で、全国紙5紙(朝日・産経・日経・毎日・読売)と地方紙である東京新聞を購入しています。各紙で視点が違うので、記事を読み比べてみましょう。記事の検索は、オンラインデータベースが便利。



図書館で調べるといえば、図書が中心になってしまいがちですが、情報を集めるときには新聞や雑誌も視野に入れて探してみましょう。パンフレットやリーフレットは、政府機関が知識の普及のために作ることも多く、多くがインターネット上で公開されています。

資料それぞれの特長を知って、上手に資料を使い分けましょう。